

学校コード F134310109955

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人常翔学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室

職名・氏名 課長 スエマサケンジ 末政 賢二

電話番号 0823-70-4503

(夜間)

e-mail HIU.Shomu@joshu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

健康科学部

<医療福祉学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常翔学園

(2) 大学名

広島国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-2695

広島県東広島市黒瀬学園台555番地36

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)	任期満了により交代 (令和2年7月) (3)
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(タナカ ヒデキ) 田中 秀樹 (令和2年4月)		
学科長等	(コサカ テツヤ) 小坂 哲也 (令和2年4月)	(オカモト ハルミ) 岡本 晴美 (令和4年4月)	任期満了により交代 (令和4年4月) (5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康科学部 医療福祉学科 学士(医療福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	新規入学者を募集停止予定	令和6年度から学生募集停止(予定)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100人 []	-人 []	100人 []	-人 []	100人 []	-人 []	100人 []	-人 []	0.51倍	-倍	0.53倍	-倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	132 [11]	- []	148 [3]	- []	107 [3]	- []	87 [1]	- []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	128 [11]	- []	143 [3]	- []	105 [3]	- []	86 [1]	- []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	120 [11]	- []	132 [3]	- []	96 [3]	- []	79 [0]	- []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	49 [9]	- []	63 [3]	- []	59 [2]	- []	34 []	- []					
入学定員超過率 B/A					0.49		0.63		0.59		0.34						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	49 [9] (-)	- [-] (-)	65 [3] (1)	- [-] (-)	59 [2] (-)	- [-] (-)	36 [-] (1)	- [-] (-)	令和3年度 1年次 転学部1人含む 2年次 転学部12人含む
2 年次	/	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	60 [9] (-)	- [-] (-)	67 [3] (-)	- [-] (-)	58 [2] (-)	- [-] (-)	令和4年度 2年次 転学部3人含む 転学科2人含む
3 年次	/	/	/	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	57 [9] (-)	- [-] (-)	65 [3] (-)	- [-] (-)	令和5年度 1年次 転学部1人含む 2年次 転学部6人含む 転学科1人含む
4 年次	/	/	/	/	/	/	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	55 [9] (-)	- [-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	49 [9] (-)		125 [12] (1)		183 [14] (-)		214 [14] (1)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	49人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	125人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	183人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	4人	0人	学習意欲の低下(2人)、他の教育機関へ転学(1人)、除籍(1人)
			令和3年度	2人	0人	他の教育機関へ転学(1人)、除籍(1人)
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	214人	11人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	0人	学力不足(1人)、除籍(1人)
			令和3年度	2人	0人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)
			令和4年度	7人	0人	就職(1人)、心身耗弱(3人)、他の教育機関へ転学(2人)、経済的困窮(1人)
			令和5年度	0人	0人	
合計		17人		17人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{49} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{183} = \boxed{3.27} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{214} = \boxed{5.14} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	保育系科目	保育原理	1前・後	2				1				兼1	
		教育原理	1前・後	2								兼1	
		社会的養護Ⅰ	3前・後	2		1							
		保育者論	1・2前・後	2			1						兼1
		保育の心理学	1前・後	2									兼1
		子ども家庭支援の心理学	1前・後	2					1				兼1
		子どもの保健	2前・後	2					1				兼1
		子ども家庭支援論	2前・後	2			1						兼1
		児童文学	2前・後	2		1							兼1
		子育て支援	3前・後	1			1						兼1
		子どもの理解と援助	1前・後	1									兼1
		子どもの健康と安全	2前・後	1					1				兼1
		子どもの食と栄養	1前・後	1					1				兼1
		保育の計画と評価	1前・後	2									兼1
		保育内容総論	1前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅰ(健康)	1前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅱ(人間関係)	2前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅲ(環境)	2前・後	1									兼1
		保育内容演習Ⅳ(言葉)	1前・後	1		1							兼1
		保育内容演習Ⅴ(表現)	1前・後	1		1							兼1
		乳児保育Ⅰ	2前・後	2					1				兼1
		乳児保育Ⅱ	2前・後	1					1				兼1
		障がい児保育	3前・後	2					1				兼1
		社会的養護Ⅱ	3前・後	1		1							兼1
		保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後	2		1							兼2
		保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後	2									兼1
		保育内容の理解と方法Ⅲ	1前・後	1									兼1
		母子保健	3前・後	1				1					兼1
		病児保育	3前・後	1				1					兼1
		保育実習概論	2前・後	1		3		2					兼1
		保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	2前・後	1		3		2					兼1
		保育実習指導Ⅰ-2(施設)	3前・後	1		3		2					兼1
		保育実習Ⅰ-1(保育所)	2週	2		3		2					兼1
保育実習Ⅰ-2(施設)	3週	2		3		2					兼1		
保育実践演習	3・4前・後	2		1							兼1		
保育実習指導Ⅱ	3前・後	1		3		2					兼1		
保育実習Ⅱ	3週	2		3		2					兼1		
保育実習指導Ⅲ	3前・後	1		3		2					兼1		
保育実習Ⅲ	3週	2		3		2					兼1		
小計(39科目)	—	0	59	0	2	1	2	0	0		兼8		
関連科目	国際福祉論	2前・後	2		1							兼1	
	国際医療福祉演習	1前・後	1		1							兼1	
	社会福祉概論	2前・後	2			1						兼1	
	音楽療法概論	2前・後	2		1							兼1	
	生涯発達心理学	2前・後	2									兼1	
	障害者心理学	1前・後	2		1							兼1	
	社会理論と社会システム	1前・後	2									兼1	
	社会福祉総論Ⅰ	4前・後	2			1						兼1	
	社会福祉総論Ⅱ	4前・後	2			1						兼1	
	総合福祉論	4前・後	4		2	6	2	1				兼1	
	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後	2			1						兼4	
	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後	2			1						兼4	
	小計(12科目)	—	0	25	0	3	6	2	1	0		兼3	
	専門演習	専門演習ⅠA	2前・後	1		2	5	4					兼1
専門演習ⅠB		2前・後	1		2	5	4					兼1	
専門演習ⅡA		3前・後	2		2	5	4					兼1	
専門演習ⅡB		3前・後	2		2	5	4					兼1	
卒業研究Ⅰ		4前・後	2		3	5	4					兼1	
卒業研究Ⅱ		4前・後	2		3	5	4					兼1	
小計(6科目)		—	10	0	0	3	5	4	0	0	0	0	
専門教育科目 合計(146科目)	—	11	242	0	7	8	5	1	0		兼24		
介護概論(介護技術を含む)			2・3前・後	2		1							
社会福祉総合実習			3・4前・後	2			1						
福祉科教育法Ⅰ			2・3前・後	2		1							
福祉科教育法Ⅱ			2・3前・後	2		1							
教科及び教科の指導法に関する科目 合計(4科目)			—	0	0	8	2	0	1	0	0	0	
教科及び教科の指導法に関する科目 合計(4科目)	教育概論	1前・後	1									兼1	
	教職概論	1前・後	1									兼1	
	教育制度論	2前・後	2									兼1	
	学校教育心理学	2前・後	2									兼1	
	特別支援教育論	2前・後	1									兼1	
	教育課程論	3前・後	2									兼1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後	1									兼1	
	特別活動の指導法	3前・後	2									兼1	
	教育方法論	2前・後	2									兼1	
	生徒指導論	2前・後	1									兼1	
	教育相談	3前・後	1									兼1	
	進路指導・キャリア教育論	3前・後	1									兼1	
	教育実習(高)	3後・4前	3			1						兼3	
	教職実践演習(高)	4前・後	2			1						兼3	
教職に関する科目 合計(14科目)	—	0	0	23	0	0	1	0	0		兼6		
合計(223科目)	—	28	306	31	7	8	5	1	0		兼66		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	保育系科目	保育原理	1前・後	2								兼1	
		教育原理	1前・後	2								兼1	
		社会的養護Ⅰ	3前・後	2		1							
		保育者論	1・2前・後	2			1						兼1
		保育の心理学	1前・後	2									兼1
		子ども家庭支援の心理学	1前・後	2					1				兼1
		子どもの保健	2前・後	2					1				兼1
		子ども家庭支援論	2前・後	2			1						兼1
		児童文学	2前・後	2		1							兼1
		子育て支援	3前・後	1			1						兼1
		子どもの理解と援助	1前・後	1									兼1
		子どもの健康と安全	2前・後	1					1				兼1
		子どもの食と栄養	1前・後	1					1				兼1
		保育の計画と評価	1前・後	2						1			兼1
		保育内容総論	1前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅰ(健康)	1前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅱ(人間関係)	2前・後	1					1				兼1
		保育内容演習Ⅲ(環境)	2前・後	1						1			兼1
		保育内容演習Ⅳ(言葉)	1前・後	1		1							兼1
		保育内容演習Ⅴ(表現)	1前・後	1		1							兼1
		乳児保育Ⅰ	2前・後	2					1				兼1
		乳児保育Ⅱ	2前・後	1					1				兼1
		障がい児保育	3前・後	2					1				兼1
		社会的養護Ⅱ	3前・後	1		1							兼1
		保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後	2		1							兼2
		保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後	2									兼1
		保育内容の理解と方法Ⅲ	1前・後	1									兼1
		母子保健	3前・後	1				1					兼1
		病児保育	3前・後	1				1					兼1
		保育実習概論	2前・後	1		3		2					兼1
		保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	2前・後	1		3		2					兼1
		保育実習指導Ⅰ-2(施設)	3前・後	1		3		2					兼1
		保育実習Ⅰ-1(保育所)	2週	2		3		2					兼1
保育実習Ⅰ-2(施設)	3週	2		3		2					兼1		
保育実践演習	3・4前・後	2		1							兼1		
保育実習指導Ⅱ	3前・後	1		3		2					兼1		
保育実習Ⅱ	3週	2		3		2					兼1		
保育実習指導Ⅲ	3前・後	1		3		2					兼1		
保育実習Ⅲ	3週	2		3		2					兼1		
小計(39科目)	—	0	59	0	2	2	2	1	0	0	兼9		
関連科目	国際福祉論	2前・後	2		1							兼1	
	国際医療福祉演習	1前・後	1		1							兼1	
	社会福祉概論	2前・後	2			1						兼1	
	音楽療法概論	2前・後	2			1						兼1	
	生涯発達心理学	2前・後	2									兼1	
	障害者心理学	1前・後	2		1							兼1	
	社会理論と社会システム	1前・後	2									兼1	
	社会福祉総論Ⅰ	4前・後	2			1						兼1	
	社会福祉総論Ⅱ	4前・後	2			1						兼1	
	総合福祉論	4前・後	4		2	6	2	1				兼1	
	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後	2			1						兼4	
	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後	2			1						兼4	
	小計(12科目)	—	0	25	0	3	6	2	1	0		兼7	
	専門演習	専門演習ⅠA	2前・後	1		2	6	1					兼1
専門演習ⅠB		2前・後	1		2	6	1					兼1	
専門演習ⅡA		3前・後	2		2	6	1					兼1	
専門演習ⅡB		3前・後	2		2	6							

<保育福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)
選択必修科目：50単位

〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、
「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、
「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、
「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」
2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭
支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、
「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、
「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、
「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、
「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」
2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、
保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、
保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕

選択科目：30単位
(「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)

(小計) 91単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<保育福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位
(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)
選択必修科目：50単位

〔「**社会福祉の原理と実践Ⅰ**」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、
「**児童・家庭福祉**」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、
「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」
1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と
栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内
容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」
1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、
「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、
「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」
2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、
保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、
保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕

選択科目：30単位
(「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)

(小計) 91単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教	准	講	助	手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1		2						兼1	
	チュートリアル	1前	1		3	2	1		1			
	専門関連基礎演習Ⅰ	1前・後	1		1	2	1					
	専門関連基礎演習Ⅱ	1前・後	1		1	2	1					
	専門関連総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1		1	1	1					
	専門関連総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1		1	1	1		1			
	地域創生と危機管理	1前・後	1		1	1					兼12	
	デジタルコミュニケーション	1前	1								兼4	
	データサイエンスⅠ	1後	1								兼4	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼3	
	英語リーディングⅠ	1前	1								兼3	
	英語リーディングⅡ	1後	1								兼3	
	スポーツ学	1前・後	1								兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1								兼9	
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	4	2	2	1	0	兼32	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	4	2	2	1	0	兼32
オプション科目 (ベシック)	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
	小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼2	
	文学	1・2・3前・後	2								兼1	
	心理学	1・2・3前・後	2		1							
	芸術学	1・2・3前・後	2								兼1	
	文化人類学	1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0	2	0	0	0	0	兼3	
	日本国憲法	1・2・3前・後	2		2		1					
	経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2								兼1	
政治学	1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	兼3		
人間と自然	1・2・3前・後	2								兼1		
数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1		
数学	1・2・3前・後	2								兼1		
物理学	1・2・3前・後	2								兼1		
化学	1・2・3前・後	2								兼1		
生物学	1・2・3前・後	2								兼1		
科学実験a	1・2・3前・後	1								兼3		
科学実験b	1・2・3前・後	1			1					兼3		
小計 (8科目)	—	0	13	0	1	0	0	0	0	兼7		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2		1							
コミュニケーション論	1・2・3前・後	2			1							
小計 (2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	兼2		
オプション科目 (アドバンス)	Reading & Writing	2・3前・後	1								兼2	
英語プレゼンテーション	2・3前・後	1								兼1		
検定英語	2・3前・後	1			1					兼1		
グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1								兼1		
グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1			1					兼1		
小計 (5科目)	—	0	5	0	2	0	0	0	0	兼6		
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1							兼2		
データ解析	1・2・3前・後	1								兼2		
プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1								兼2		
小計 (3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	兼6		
育保健康	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼9	
小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼9		
人間と文化a	1・2・3前・後	1				1						
人間と文化b	1・2・3前・後	1								兼1		
小計 (2科目)	—	0	2	0	0	1	0	0	0	兼1		
人間と社会a	1・2・3前・後	1								兼1		
人間と社会b	1・2・3前・後	1		1								
小計 (2科目)	—	0	2	0	1	0	0	0	0	兼1		
人間と自然a	1・2・3前・後	1								兼1		
人間と自然b	1・2・3前・後	1								兼1		
小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2		
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1		1	1					兼5	
小計 (1科目)	—	0	1	0	1	1	0	0	0	兼5		
留学生特別科目	日本事情 a	1・2・3前・後	2		1							
日本事情 b	1・2・3前・後	2		1								
小計 (2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	0		
バグロⅠ	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2			1						
日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2				1						
小計 (2科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0		
オプション科目 合計 (44科目)	—	—	0	64	0	4	3	0	0	0	兼29	
専門基礎科目	社会福祉の原理と実践Ⅰ	1前・後	2								兼1	
社会福祉の原理と実践Ⅱ	1前・後	2								兼1		
ソーシャルワーク入門	1前・後	1			1	1						
医学・医療概論	1前・後	1								兼1		
医療・生命倫理	1前・後	1								兼1		
小計 (5科目)	—	1	6	0	1	1	0	1	0	兼3		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教	准	講	助	手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1		2						兼1	
	チュートリアル	1前	1		3	2	3	1				
	専門関連基礎演習Ⅰ	1前・後	1		1	2	3	1				
	専門関連基礎演習Ⅱ	1前・後	1		1	2	3	1				
	専門関連総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1		1	1	1					
	専門関連総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1		1	1	1		1			
	地域創生と危機管理	1前・後	1		1	1					兼13	
	デジタルコミュニケーション	1前	1								兼4	
	データサイエンスⅠ	1後	1								兼4	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼3	
	英語リーディングⅠ	1前	1								兼3	
	英語リーディングⅡ	1後	1								兼3	
	スポーツ学	1前・後	1								兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1								兼10	
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	3	6	3	1	0	兼34	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	3	6	3	1	0	兼34
オプション科目 (ベシック)	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
	小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼2	
	文学	1・2・3前・後	2								兼1	
	心理学	1・2・3前・後	2		1							
	芸術学	1・2・3前・後	2								兼1	
	文化人類学	1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0	2	0	0	0	0	兼3	
	日本国憲法	1・2・3前・後	2		2		1					
	経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2								兼1	
政治学	1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	兼3		
人間と自然	1・2・3前・後	2								兼1		
数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1		
数学	1・2・3前・後	2								兼1		
物理学	1・2・3前・後	2								兼1		
化学	1・2・3前・後	2								兼1		
生物学	1・2・3前・後	2								兼1		
科学実験a	1・2・3前・後	1								兼3		
科学実験b	1・2・3前・後	1			1					兼3		
小計 (8科目)	—	0	13	0	0	0	0	0	0	兼8		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2		1							
コミュニケーション論	1・2・3前・後	2			1							
小計 (2科目)	—	0	4	0	1	1	0	0	0	0	兼2	
オプション科目 (アドバンス)	Reading & Writing	2・3前・後	1								兼1	
英語プレゼンテーション	2・3前・後	1								兼1		
検定英語	2・3前・後	1			1					兼1		
グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1								兼1		
グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1			1					兼1		
小計 (5科目)	—	0	5	0	2	0	0	0	0	兼4		
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1							兼2		
データ解析	1・2・3前・後	1								兼2		
プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1								兼2		
小計 (3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	兼6		
育保健康	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼9	
小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼9		
人間と文化a	1・2・3前・後	1				1						
人間と文化b	1・2・3前・後	1								兼1		
小計 (2科目)	—	0	2	0	0	1	0	0	0	兼1		
人間と社会a	1・2											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼手		
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	社会福祉系科目	医学概論	1前・後	2								兼1	
		社会調査の基礎	2前・後	2								兼1	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前・後	2	1	1						兼1	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2前・後	2	2							兼1	
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅰ	2前・後	2	1	1						兼1	
		ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)Ⅱ	2前・後	2	1	1						兼1	
		ソーシャルワークの基礎と専門論(社会専門)	1前・後	2								兼1	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前・後	2								兼1	
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後	2								兼1	
		福祉行政と福祉計画	2・3前・後	2								兼1	
		福祉サービスの組織と経営	2前・後	2								兼1	
		社会福祉Ⅰ	2前・後	2								兼1	
		社会福祉Ⅱ	2前・後	2								兼1	
		高齢者福祉Ⅰ	1前・後	2								兼1	
		高齢者福祉Ⅱ	1前・後	2								兼1	
		障害者福祉	2前・後	2			1					兼1	
		障がいの理解	1前・後	2			1					兼1	
		児童・家庭福祉	1・2前・後	2			1					兼1	
		低所得者に対する支援と生活保護制度	2前・後	2								兼1	
		保健医療と福祉	2前・後	2					1			兼1	
		就労支援サービス	3前・後	1		1						兼1	
		権利擁護と成年後見制度	3前・後	2			1					兼1	
		更生保護制度	3前・後	2								兼1	
		ソーシャルワーク実習	2後・3前・後	1		3						兼1	
		社会福祉援助技術実習Ⅰ	3前・後	2		3						兼1	
		ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ	2後・3前・後	1		2						兼1	
		社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	3前・後	1		2						兼3	
		社会福祉援助技術実習指導Ⅲ	3前・後	1		2						兼3	
		ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ	2後・3前・後	2		2						兼1	
		小計(30科目)		0	54	0	2	5	0	1	0	0	兼8
		精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ	3前・後	2								兼1
				精神疾患とその治療Ⅱ	3前・後	2							兼1
				精神保健の課題と支援Ⅰ	2前・後	2							兼1
				精神保健の課題と支援Ⅱ	2前・後	2							兼1
				精神保健福祉相談援助の基礎(専門)	2前・後	2		1					兼1
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA	3前・後			2		1					兼1		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB	3前・後			2		1					兼1		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA	4前・後			2		1					兼1		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB	4前・後			2		1					兼1		
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	3前・後			2		1					兼1		
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	3前・後			2		1					兼1		
精神障害者の生活支援システム	3前・後			2							兼1		
精神保健福祉援助実習Ⅰ	1前・後			1		1					兼1		
精神保健福祉援助実習Ⅱ	3前・後			1		1					兼1		
精神保健福祉援助実習Ⅲ	3前・後			1		1					兼1		
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3前			1		1			1		兼1		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	3前・後			1		1			1		兼1		
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前・後			1		1			1		兼2		
精神保健福祉援助実習	3後・4前・後			0	35	0	1	0	0	1	0	兼3	
小計(19科目)				0	35	0	1	0	0	1	0	兼3	
介護福祉系科目	介護福祉系科目	発達と老化の理解	2前・後	2				1				兼1	
		認知症の理解	3前・後	2								兼1	
		認知症のケア	3前・後	2								兼1	
		心と体の仕組み	1前・後	2								兼1	
		介護の基本ⅠA	1前・後	2					1			兼1	
		介護の基本ⅠB	1前・後	2					1			兼1	
		介護の基本Ⅱ	3前・後	2								兼1	
		リハビリテーション論	3前・後	2								兼1	
		レクリエーション活動援助法	1前・後	1								兼1	
		介護マネジメント論	3前・後	2								兼1	
		コミュニケーション技術Ⅰ	2前・後	1				1				兼1	
		コミュニケーション技術Ⅱ	3前・後	1								兼1	
		家政学概論Ⅰ	2前・後	2								兼1	
		家政学概論Ⅱ	2前・後	2								兼1	
		家政学演習Ⅰ(実務)	2前・後	1								兼1	
		家政学演習Ⅱ(概論)	2・3前・後	1								兼1	
		生活支援技術Ⅰ	1前・後	2								兼1	
		生活支援技術Ⅱ	1前・後	2								兼1	
		生活支援技術Ⅲ	2前・後	1								兼1	
		生活支援技術Ⅳ	2前・後	1								兼1	
		介護過程Ⅰ	1前・後	2				1				兼1	
		介護過程ⅡA	2前・後	1								兼1	
		介護過程ⅡB	2前・後	1								兼1	
		介護過程ⅢA	3前・後	1								兼1	
		介護過程ⅢB	3前・後	1								兼1	
介護総合演習Ⅰ	1前・後	1			1	2				兼1			
介護総合演習Ⅱ	2前・後	1			1	2				兼1			
介護総合演習Ⅲ	3前・後	1			1	2				兼1			
介護実習Ⅰ	1週	2			1	2				兼1			
介護実習Ⅱ	2週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅲ	3週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅳ	4週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅴ	5週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅵ	6週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅶ	7週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅷ	8週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅸ	9週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅹ	10週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅺ	11週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅻ	12週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅼ	14週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅽ	15週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅾ	16週	4			1	2				兼1			
介護実習Ⅿ	17週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅰ	18週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅱ	19週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅲ	20週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅴ	21週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅵ	22週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅶ	23週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅷ	24週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅸ	25週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅹ	26週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅺ	27週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅻ	28週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅼ	29週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅽ	30週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅾ	31週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅿ	32週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅿ	33週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅿ	34週	4			1	2				兼1			
介護実習ⅿ	35週	4			1	2				兼1			
小計(35科目)		0	59	0	0	1	2	0	0	0	兼10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼手			
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	社会福祉系科目	医学概論	1前・後	2								兼1		
		社会調査の基礎	2前・後	2								兼1		
		相談援助の理論と方法ⅠA	2前・後	2								兼1		
		相談援助の理論と方法ⅠB	2前・後	2								兼1		
		相談援助の理論と方法ⅡA	2前・後	2								兼1		
		相談援助の理論と方法ⅡB	2前・後	2								兼1		
		ソーシャルワークの基礎と専門論(社会専門)	1前・後	2								兼1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2前・後	2								兼1		
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2・3前・後	2								兼1		
		福祉行政と福祉計画	2・3前・後	2								兼1		
		福祉サービスの組織と経営	2・3前・後	2								兼1		
		社会福祉Ⅰ	2前・後	2								兼1		
		社会福祉Ⅱ	2前・後	2								兼1		
		高齢者福祉Ⅰ	1前・後	2								兼1		
		高齢者福祉Ⅱ	1前・後	2								兼1		
		障害者福祉	2前・後	2								兼1		
		障がいの理解	1前・後	2								兼1		
		児童・家庭福祉	1・2前・後	2								兼1		
		低所得者に対する支援と生活保護制度	2前・後	2								兼1		
		保健医療サービス	2前・後	2								兼1		
		就労支援サービス	3前・後	1								兼1		
		権利擁護と成年後見制度	3前・後	2								兼1		
		更生保護制度	3前・後	2								兼1		
		社会福祉援助技術実習Ⅰ	3前・後	3		1	3					兼1		
		社会福祉援助技術実習Ⅱ	3前・後	2		1	3					兼1		
		社会福祉援助技術実習指導Ⅰ	3前・後	1		1	3					兼1		
		社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	3前・後	1		1	3					兼1		
		社会福祉援助技術実習指導Ⅲ	3前・後	1		1	3					兼1		
		社会福祉援助技術実習指導Ⅳ	3前・後	1		1	3					兼1		
		小計(30科目)		0	58	0	1	5	1	1	0	0	兼4	
		精神保健福祉系科目	精神疾患とその治療Ⅰ	3前・後	2								兼1	
				精神疾患とその治療Ⅱ	3前・後	2								兼1
				精神保健の課題と支援Ⅰ	2前・後	2								兼1
				精神保健の課題と支援Ⅱ	2前・後	2								兼1

<介護福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

選択必修科目：56単位

〔「医学概論」2単位、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」2単位、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」2単位、「高齢者福祉Ⅰ」2単位、「高齢者福祉Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程Ⅱ」1単位、「介護過程Ⅲ」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕

選択科目：24単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)

(小計) 91 単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<保育福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

選択必修科目：50単位

〔「社会福祉の原理と実践Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕

選択科目：30 単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)

(小計) 91 単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<介護福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

選択必修科目：56単位

〔「医学概論」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者福祉Ⅰ」2単位、「高齢者福祉Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「レクリエーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(栄養)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程Ⅱ」1単位、「介護過程Ⅲ」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕

選択科目：24 単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)

(小計) 91 単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<保育福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】
○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

選択必修科目：50単位

〔「社会福祉の原理と実践Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、「児童・家庭福祉」2単位、「子育て支援」1単位、「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、保育実習指導Ⅰ—1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ—2(施設)(1単位)、保育実習Ⅰ—1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ—2(施設)(2単位)〕

選択科目：30 単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)

(小計) 91 単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任 兼担		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	精神 保健 福祉 系 科目	精神疾患とその治療Ⅰ	3前・後	2									兼1
		精神疾患とその治療Ⅱ	3前・後	2									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅰ	2前・後	2									兼1
		精神保健の課題と支援Ⅱ	2前・後	2									兼1
		精神保健福祉相談援助の基礎(専門)	2前・後	2									兼1
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠA	3前・後	2			1						
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅠB	3前・後	2			1						
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA	4前・後	2			1						
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB	4前・後	2			1						
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	3前・後	2			1						
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	3前・後	2			1						
		精神障害者の生活支援システム	3前・後	2			1						兼1
		精神保健福祉援助演習Ⅰ	3前・後	1				1					
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	3前・後	1				1					
		精神保健福祉援助演習Ⅲ	4前・後	1				1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3前	1				1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	3前・後	1				1					
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前・後	1				1					
		精神保健福祉援助実習	3後・4前・後	5				1					
小計(19科目)	—	—	0	35	0	0	1	0	0	0	0	兼2	
介護 福祉 系 科目	発達と老化の理解	2前・後	2										兼1
	認知症の理解	3前・後	2										兼1
	認知症のケア	3前・後	2			1							兼1
	心と体の仕組み	1前・後	2			1							兼1
	介護の基本ⅠA	1前・後	2			1							兼1
	介護の基本ⅠB	1前・後	2					1					兼1
	介護の基本Ⅱ	3前・後	2					1					兼1
	リハビリテーション論	3前・後	2										兼1
	レクリエーション活動援助法	1前・後	1										兼1
	介護マネジメント論	3前・後	2										兼1
	コミュニケーション技術Ⅰ	2前・後	1			1							兼1
	コミュニケーション技術Ⅱ	3前・後	1										兼1
	家政学概論Ⅰ	2前・後	2										兼1
	家政学概論Ⅱ	2前・後	2										兼1
	家政学演習Ⅰ(卒業)	2前・後	1										兼1
	家政学演習Ⅱ(被服)	2・3前・後	1										兼1
	生活支援技術Ⅰ	1前・後	2					1					兼1
	生活支援技術Ⅱ	1前・後	2					1					兼1
	生活支援技術Ⅲ	2前・後	1					1					兼1
	生活支援技術Ⅳ	3前・後	1					1					兼1
	介護過程Ⅰ	1前・後	2				1						兼1
	介護過程ⅡA	2前・後	1					1					兼1
	介護過程ⅡB	2前・後	1					1					兼1
	介護過程ⅢA	3前・後	1					1					兼1
介護過程ⅢB	3前・後	1					1					兼1	
介護総合演習Ⅰ	1前・後	1				2						兼1	
介護総合演習Ⅱ	2前・後	1				1		2				兼1	
介護総合演習Ⅲ	3前・後	1				1		2				兼1	
介護実習Ⅰ	1週	2			2			2				兼1	
介護実習Ⅱ	2週	4			1			2				兼1	
介護実習Ⅲ	3週	4			1			2				兼1	
介護予防と終末期のケア	3前・後・4前	2			1							兼1	
医療的ケアⅠ	3前・後	2						1				兼1	
医療的ケアⅡ	3前・後	2						1				兼1	
医療的ケアⅢ	3前・後	1						1				兼1	
小計(35科目)	—	—	0	59	0	2	2	2	0	0	0	兼7	
保 育 系 科目	保育原理	1前・後	2					1					兼1
	教育原理	1前・後	2										兼1
	社会的養護Ⅰ	3前・後	2			1							兼1
	保育考論	1・2前・後	2				1						兼1
	保育の心理学	1前・後	2										兼1
	子ども家庭支援の心理学	1前・後	2										兼1
	子どもの保健	2前・後	2					1					兼1
	子ども家庭支援論	2前・後	2					1					兼1
	児童文学	2前・後	2			1							兼1
	子育て支援	3前・後	1				1						兼1
	子どもの理解と援助	1前・後	1										兼1
	子どもの健康と安全	2前・後	1						1				兼1
	子どもの食と栄養	1前・後	2						1				兼1
	保育の計画と評価	1前・後	2										兼1
	保育内容総論	1前・後	1										兼1
	保育内容演習Ⅰ(健康)	1前・後	1						1				兼1
	保育内容演習Ⅱ(人間関係)	2前・後	1						1				兼1
	保育内容演習Ⅲ(環境)	2前・後	1										兼1
	保育内容演習Ⅳ(言葉)	1前・後	1			1							兼1
	保育内容演習Ⅴ(表現)	1前・後	1			1							兼1
	乳児保育Ⅰ	2前・後	2						1				兼1
	乳児保育Ⅱ	2前・後	1						1				兼1
	健がい児保育	3前・後	2						1				兼1
	社会的養護Ⅱ	3前・後	1			1							兼2
	保育内容の理解と方法Ⅰ	1前・後	2			1							兼1
	保育内容の理解と方法Ⅱ	2前・後	2										兼1
	保育内容の理解と方法Ⅲ	1前・後	1										兼1
	母子保健	3前・後	1						1				兼1
	病児保育	3前・後	1						1				兼1
保育実習概論	2前・後	1			3			2				兼1	
保育実習指導Ⅰ-1(保育所)	2前・後	1			3			2				兼1	
保育実習指導Ⅰ-2(施設)	3前・後	1			3			2				兼1	
保育実習Ⅰ-1(保育所)	2週	2			3			2				兼1	
保育実習Ⅰ-2(施設)	3週	2			3			2				兼1	
保育実践演習	3・4前・後	2			1							兼1	
保育実習指導Ⅱ	3前・後	1			3			2				兼1	
保育実習Ⅱ	3週	2			3			2				兼1	
保育実習指導Ⅲ	3前・後	1			3			2				兼1	
保育実習Ⅲ	3週	2			3			2				兼1	
小計(39科目)	—	—	0	59	0	2	2	2	0	0	0	兼8	
開 通 科 目	国際福祉論	2前・後	2			1							兼1
	国際医療福祉演習	1前・後	1			1		1					兼1
	社会福祉法概論	2前・後	2					1					兼1
	音楽療法論	2前・後	2										兼1
	生涯発達心理学	2前・後	2					1					兼1
	障害者心理学	1前・後	2										兼1
	社会理論と社会システム	1前・後	2										兼1
	社会福祉総論Ⅰ	4前・後	2						1				兼1
	社会福祉総論Ⅱ	4前・後	2						1				兼1
	総合福祉論	4前・後	4			2		6	2	1			兼1
	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2前・後	2						1				兼1
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2前・後	2						1				兼1	
小計(12科目)	—	—	0	25	0	3	6	2	1	0	0	兼3	
専 門 演 習	専門演習ⅠA	2前・後	1			2		5	4				兼1
	専門演習ⅠB	2前・後	1			2		5	4				兼1
	専門演習ⅡA	3前・後	2			2		5	4				兼1
	専門演習ⅡB	3前・後	2			2		5	4				兼1
	卒業研究Ⅰ	4前・後	2			3		5	4				兼1
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2			3		5	4				兼1
小計(6科目)	—	—	10	0	0	3	5	4	0	0	0	兼6	
専門教育科目 合計(146科目)	—	—	11	242	0	7	8	5	1	0	0	兼24	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任 負担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	介護概論（介護技術を含む）	2・3前・後			2	1						
	社会福祉総合実習	3・4前・後			2			1				
	福祉科教育法Ⅰ	2・3前・後			2		1					
	福祉科教育法Ⅱ	2・3前・後			2			1				
教科及び教科の指導法に関する科目 合計（4科目）			—	0	0	8	2	0	1	0	0	0
	教育概論	1前・後			1							兼1
	教育概論	1前・後			2							兼1
	教育制度論	2前・後			2							兼1
	学校教育心理学	2前・後			2							兼1
	特別支援教育論	2前・後			1							兼1
	教育課程論	3前・後			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			1							兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2							兼1
	教育方法論	2前・後			2							兼1
	生徒指導論	2前・後			1							兼1
	教育相談	3前・後			1							兼1
	進路指導・キャリア教育論	3前・後			1							兼1
	教育実習（高）	3後・4前			3			1				兼3
	教職実践演習（高）	4前・後			2			1				兼3
教職に関する科目 合計（14科目）			—	0	0	23	0	0	1	0	0	兼6
合計（223科目）			—	26	306	31	7	8	5	1	0	兼71

卒業要件及び履修方法

<医療福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】

○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)

選択必修科目：38単位
〔「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「現代社会と福祉Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡA」2単位、「相談援助の基礎と専門職Ⅰ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅡB」2単位、「相談援助の基礎と専門職Ⅱ」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅰ」2単位、「地域福祉の理論と方法Ⅱ」2単位、「社会保険Ⅰ」2単位、「社会保険Ⅱ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「保健医療サービス」2単位、「権利擁護と成年後見制度」2単位〕

選択科目：42単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から42単位)

(小計) 91単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<介護福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】

○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位以上

○オプション科目

選択科目：8単位

(小計) 8単位以上

○専門教育科目

必修科目：11単位

(「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)

選択必修科目：55単位
〔「人体の構造と機能及び疾病」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠA」2単位、「相談援助の理論と方法ⅠB」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」2単位、「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ」2単位、「障がいの理解」2単位、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「介護の基本ⅠA」2単位、「介護の基本ⅠB」2単位、「シミュレーション活動援助法」1単位、「コミュニケーション技術Ⅰ」1単位、「コミュニケーション技術Ⅱ」1単位、「家政学概論Ⅰ」2単位、「家政学演習Ⅰ(実業)」1単位、「生活支援技術Ⅰ」2単位、「生活支援技術Ⅱ」2単位、「生活支援技術Ⅲ」1単位、「介護過程Ⅰ」2単位、「介護過程ⅡA」1単位、「介護過程ⅡB」1単位、「介護総合演習Ⅰ」1単位、「介護総合演習Ⅱ」1単位、「介護実習Ⅰ」2単位、「介護実習Ⅱ」4単位、「発達と老化の理解」2単位、「認知症の理解」2単位、「認知症のケア」2単位、「心と体の仕組み」2単位、「医療的ケアⅠ」2単位、「医療的ケアⅡ」2単位、「医療的ケアⅢ」1単位、「生涯発達心理学」2単位〕

選択科目：24単位

(「専門基礎科目」「専門科目」から24単位)

(小計) 91単位以上

○その他：10単位

オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

(合計) 124単位以上

<保育福祉学専攻>

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目及び卒業に必要な単位数に含まれない科目として申請している科目を除く。

【履修方法】

○スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計)	15単位以上
○オプション科目	
選択科目：8単位	
(小計)	8単位以上
○専門教育科目	
必修科目：11単位 (「専門基礎科目」1単位、「専門科目」10単位)	
選択必修科目：50単位 (「現代社会と福祉Ⅰ」2単位、「保育原理」2単位、「教育原理」2単位、 「児童と家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2単位、「子育て支援」1単位、 「社会的養護Ⅰ」2単位、「保育者論」2単位、「保育の心理学」2単位、 「子ども家庭支援の心理学」2単位、「子どもの理解と援助」1単位、「子どもの保健」 2単位、「子どもの健康と安全」1単位、「子どもの食と栄養」2単位、「子ども家庭 支援論」2単位、「保育の計画と評価」2単位、「保育内容総論」1単位、 「保育内容演習Ⅰ(健康)」1単位、「保育内容演習Ⅱ(人間関係)」1単位、 「保育内容演習Ⅲ(環境)」1単位、「保育内容演習Ⅳ(言葉)」1単位、 「保育内容演習Ⅴ(表現)」1単位、「乳児保育Ⅰ」2単位、「乳児保育Ⅱ」1単位、 「障がい児保育」2単位、「社会的養護Ⅱ」1単位、「保育内容の理解と方法Ⅰ」 2単位、「保育内容の理解と方法Ⅱ」2単位、保育実習概論(1単位)、 保育実習指導Ⅰ-1(保育所)(1単位)、保育実習指導Ⅰ-2(施設)(1単位)、 保育実習Ⅰ-1(保育所)(2単位)、保育実習Ⅰ-2(施設)(2単位))	
選択科目：30単位 (「専門基礎科目」「専門科目」から30単位)	
(小計)	91単位以上
○その他：10単位 オプション科目、所属学部の専門教育科目、他学部の専門教育科目から10単位以上を修得すること。	
(合計)	124単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために去開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 1,460.88㎡ 1,896.32㎡ 2,384.69㎡ 借用期間：30年 (平成20年以降継続) 運動場用地売却のため。 (2)	
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡		
	運動場用地	185,687.51㎡ 189,896.36㎡	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ 189,896.36㎡		
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡		
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡		
	合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡		
(2) 校 舎	専 用	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡) (117,137.07㎡)	共 用 0㎡	共用する他の 学校等の専用 0㎡	計 116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡) (117,137.07㎡)	登記上面積の誤差のため (2)	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス集約に伴う変更。設置学部では使用しない部屋であり、教育・研究に支障はない。(2)	
	86室 94室	419室 453室	262室 277室	8室 11室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		退職による減。(4) 専任教員数の増。(5)	
	健康科学部 医療福祉学科			21 18 21	室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	<p>大学全体での共用分・図書 203,011冊 201,734冊 199-403冊 197-132冊 196,681冊 [30,140冊] [30-150冊] [30,114冊] [30,118冊] [30,198冊] 共用分PC関係洋図書除籍による減。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 洋図書の減は、漏水被害を被った洋図書の除籍による。このことに伴う教育・研究への支障はない。(3) 教育研究環境充実のため。(4) 洋図書の減は複本等の除籍による。このことに伴う教育・研究への支障はない。(5) ・学術雑誌 1,121種 1,140種 21,265冊 [471種] [472種] [9,626冊] 冊数一種数に変更(2) 洋雑誌減：種数は正の為 (3) 東広島キャンパスでの共用分・電子ジャーナル 8種 [7種] 11種 [10種] 共用分電子ジャーナルの減少は他学科が購読を取りやめたため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(4) 【図書】 学科図書冊数の減少は旧版図書を除籍したため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 学科洋図書冊数の減少は漏水被害図書を除籍したため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(3) 学科図書冊数の減少は旧版図書を除籍したため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(4) 学科図書冊数の減少は旧版図書を除籍したため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(5) 【学術雑誌】 教育研究環境充実のため。(2) 教育研究環境充実のため。(3) 教育研究環境充実のため。(4) 【機器・器具】 教育研究環境充実のため。(2) 教育研究環境充実のため。(3) 教育研究環境充実のため。(4) 教育研究環境充実のため。(5) 【標本】 教育研究環境充実のため。(3)</p>
	健康科学部 医療福祉学科	[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
		冊	種	[うち外国書]	点	点	
	12,629 [1,628] 13,019 [-1,629] 13,059 [1,629] 12,904 [1,650] 12,949 [-1,649]	83 [37] 82 [37] 81 [37] 25 [3]	0 [0]	332 [1] 328 [1] 318 [1] 313	6,154 6,143 6,138 5,792 4,855	28 26	
	(12,629 [1,628]) (-13,019 [-1,629]) (13,059 [1,629]) (12,904 [1,650]) (12,949 [-1,649])	(83 [37]) (82 [37]) (81 [37]) (25 [3])	(0 [0])	(332 [1]) (328 [1]) (318 [1]) (313)	(6,154) (6,143) (6,138) (5,792) (4,849)	(28) (26)	
	12,629 [1,628] 13,019 [-1,629] 13,059 [1,629] 12,904 [1,650] 12,949 [-1,649]	83 [37] 82 [37] 81 [37] 25 [3]	0 [0]	332 [1] 328 [1] 318 [1] 313	6,154 6,143 6,138 5,792 4,855	28 26	
	(12,629 [1,628]) (-13,019 [-1,629]) (13,059 [1,629]) (12,904 [1,650]) (12,949 [-1,649])	(83 [37]) (82 [37]) (81 [37]) (25 [3])	(0 [0])	(332 [1]) (328 [1]) (318 [1]) (313)	(6,154) (6,143) (6,138) (5,792) (4,849)	(28) (26)	
	計						

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		座席数減少は設備故障等による閲覧室閉鎖、書架増設のため、 (2) 収納可能冊数の増加は書架増設のため。(2)		
	3,621.31㎡		507 635		253,643 244,195				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,550.52㎡		第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート 4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費の見積りは学部全体 【教員1人当り研究費等】学部配分予算変更のため。(2) 学部配分予算変更のため。(5) 【図書購入費】図書館予算減少のため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 図書館予算減少のため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(3) 図書館予算減少のため。このことに伴う教育・研究への支障はない。(5) 【設備購入費】教育研究環境充実のため。(2) 教育研究環境充実のため。(3)
		教員1人当り研究費等	190千円 283千円	149千円 283千円	図書購入費	9,879千円 10,663千円	8,351千円 8,495千円 10,462千円	6,012千円 10,236千円	
		共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	6,255千円 3,363千円	9,735千円 3,329千円	3,363千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,330千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、補助活動収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島国際大学										1	1	1	1
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	1	1	1								
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
保健医療学部	4	220	-	880	-	1.06	-	1.03	1.01	-	平成10	-		
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.18	-	1.18	1.15	-	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36		
医療技術学科	4	100	-	400	-	0.97	-	0.94	-	令和2	平成25	同上		
臨床工学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床工学)	0.90	-	0.85	-	-	平成25	同上		
臨床検査学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床検査学)	1.03	-	1.02	0.98	令和2	平成25	同上		
救急救命学科	4	50	-	200	学士 (救急救命学)	1.09	-	1.02	-	令和2	令和2	同上		
総合リハビリテーション学部	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	-	平成25	-		
リハビリテーション学科	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	令和2	平成25	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36		
理学療法学専攻	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.13	-	1.05	1.04	令和2	平成25	同上		
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.14	-	1.12	1.10	-	平成25	同上		
言語聴覚療法学専攻	4	30	-	120	学士 (言語聴覚療法学)	0.90	-	0.86	-	-	平成25	同上		
義肢装具学専攻	4	30	-	120	学士 (義肢装具学)	0.96	-	0.87	-	令和2	令和2	同上		
リハビリテーション支援学科	4	-	-	-	学士 (義肢装具学)	-	-	-	-	-	平成25	同上	令和2年度入学生より学生募集停止	
義肢装具学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
医療福祉学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成10	-		
医療福祉学科	4	-	-	-	学士 (医療福祉学)	-	-	-	-	-	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止	
医療福祉学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和4年度3年次編入学生より学生募集停止	
介護福祉学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
保育学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
医療経営学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23	-		
医療経営学科	4	-	-	-	学士 (医療経営学)	-	-	-	-	-	平成23	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止	
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-		
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	-	-	平成13	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	平成27年度入学生より学生募集停止 平成29年度3年次編入学生より学生募集停止	
心理学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成27	-		
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	-	-	平成27	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止 令和4年度3年次編入学生より学生募集停止	
看護学部	4	120	3年次10	500	-	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	-		
看護学科	4	120	3年次10	500	学士 (看護学)	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	広島県東広島市古新開5丁目1番1号		
薬学部	6	120	-	720	-	0.78	-	0.73	-	-	平成18	-		
薬学科(6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.78	-	0.73	-	-	平成18	広島県東広島市古新開5丁目1番1号		
医療栄養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成26	-		
医療栄養学科	4	-	-	-	学士 (医療栄養学)	-	-	-	-	-	平成26	広島県東広島市古新開5丁目1番1号	令和2年度入学生より学生募集停止	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
健康科学部	4	350	-	1,400	-	0.76	-	0.74	-	-	令和2	-	
医療福祉学科	4	100	-	400	学士(医療福祉学)	0.51	-	0.53	-	令和2	令和2	広島県東広島市 鳳瀬学園台555番地36	
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4 4 4												
医療経営学科	4	90	-	360	学士(医療経営学)	0.89	-	0.85	-	令和2	令和2	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士(心理学)	0.77	-	0.75	-	令和2	令和2	同上	
医療栄養学科	4	60	-	240	学士(医療栄養学)	0.98	-	0.92	-	令和2	令和2	広島県東広島市 古新開5丁目1番1号	
健康スポーツ学部	4	70	-	280	-	1.13	-	1.09	-	-	令和2	-	
健康スポーツ学科	4	70	-	280	学士(健康スポーツ学)	1.13	-	1.09	-	令和2	令和2	広島県東広島市 鳳瀬学園台555番地36	
大学全体	4 6	940 120	3年次 10 0	3,780 720	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画																								
届 出 時 (平成31年)	該当なし																										
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table> <p>【AC】指摘事項(改善)</p> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 その結果、2021年度の入学定員充足率は0.63倍と改善傾向にある。今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	履行済 該当なし						
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>【AC】指摘事項(改善)</p> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 2022年度の入学定員充足率は0.59倍と前年度より若干の減少となった。コロナ禍の中、留学生の確保が困難な状況であったが、今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	履行済 該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員充足率(倍)																						
令和2年度	100	202	184	49	0.49																						
令和3年度	100	196	176	63	0.63																						
令和4年度	100	107	96	59	0.59																						

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和4年度)</p>	<p>教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1" data-bbox="628 250 1246 394"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>100</td> <td>87</td> <td>79</td> <td>34</td> <td>0.34</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」を課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>令和6年度より社会学科に改組することにより、募集停止する学科であるため募集活動が難しい環境であったが、特色である地域活動をアピールし、福祉の知識のニーズが福祉施設にとどまらず行政や企業にまで広がっていることを伝えながら募集活動を行った。福祉施設と連携した独自奨学金を次年度以降も継続することを決め、さらに高大連携を見据えた高校訪問等を行った。</p> <p>令和5年度の入学定員充足率は0.34倍と医療福祉学科としては最後の募集ということもあり、前年度より大幅な減少となった。今後は社会学科として新たに募集を行い、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	令和5年度	100	87	79	34	0.34	<p>履行済</p> <p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																													
令和2年度	100	202	184	49	0.49																													
令和3年度	100	196	176	63	0.63																													
令和4年度	100	107	96	59	0.59																													
令和5年度	100	87	79	34	0.34																													

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 医療福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、広報活動WG、セミナー運営WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、研修会運営WG等）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和5年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック 2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供 3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年1回） 4. FD活動報告冊子の発行（隔年） 5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み 6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生授業アンケート 2. FD講演会 3. FD研修会 4. FD newsletterの発行 5. FD活動報告冊子の発行 6. 授業公開 7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備 <p>b 実施方法 実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教職員が参加できるように配慮している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生満足度調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・前期 令和4年 5月～8月 ・後期 令和4年10月～令和5年3月 <p>・全科目調査することとしている。（一部特別開講や旧カリキュラムで受講者が若干名の科目は除外）</p>
--

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和4年8月24日（水）15：00～16：30
- ・テーマ：学生は授業の何を見ているか ～授業アンケートの自由記述から見えてくるもの～
- ・参加者数：123名

- ・日時：令和5年2月17日（金）15：00～16：30
- ・テーマ：振り返り（メタ認知）
- ・参加者数：91名

3. FD研修会の開催

- ・日時：令和4年9月2日（金）10：00～12：00
- ・テーマ：「アサーション」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：8名

- ・日時：令和4年9月2日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：コミュニケーション「積極的傾聴法」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：16名

- ・日時：令和4年9月9日（金）10：30～12：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ作成」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：4名

- ・日時：令和4年9月9日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：「到達目標の書き方」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：6名

- ・日時：令和5年3月1日（水）10：00～12：00
- ・テーマ：「ルーブリック活用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：7名

- ・日時：令和5年3月1日（水）14：00～16：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ」発表会
- ・対象：9月作成研修会参加者
- ・参加人数：3名

- ・日時：①令和5年3月7日（火）13：30～16：00
②令和5年3月17日（金）13：30～16：00
- ・テーマ：「マイクロティーチング」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：①2名
②2名

- ・日時：令和5年2月28日（火）13：00～14：00
- ・テーマ：「Assessor利用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：対面8名
遠隔24名
Youtube Live 14名

4. FD newsletterの発行

- ・年1回発行（令和4年11月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和4年6月～7月
授業公開数：126科目、聴講者数：194名
- ・後期 令和4年12月
授業公開数：115科目、聴講者数：182名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計結果
に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「健康科学部」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、健康増進を形成する基本要素となる「交流、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善の需要が高まっていることを背景に設置したのもであり、4つの学科で構成している。

「医療福祉学科」では、社会福祉学に関する専門知識と技術を幅広く修得し、豊かな人間性を土台として、専門的知識・技術を用いて、様々な生活上の問題を抱える人々に寄り添いながら、地域生活を支援できる人材を養成する。

「医療経営学科」では、医療マインドを有した経営スキルをもって、多角的に医療や健康を検討できる「医療経営」人材を育成し、多くの専門職からなる医療組織を効果的に束ねて、効率的な医療提供を医療機関において貢献する医療マネジメントスタッフの養成を行う。

「心理学科」では、心理学の専門知識とコミュニケーション技術を生かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。

「医療栄養学科」では、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を養成する。

これらの目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

1. 入学者確保

学生募集活動では、学科紹介パンフレット作成、ホームページ内容の充実、大学見学会の実施や業者主催の入試説明会への参加、高校等へ積極的に広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。

その結果、238名が入学した。今後も引き続き、定員充足にむけた各種改善策の取組みに加えて、学生募集戦略の一層の強化による学生確保に努めることとする。

2. 初年次教育

大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

3. 新任教員オリエンテーション

令和5年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止として、研修の一部をオンデマンドで行い、対面での時間を短縮して実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年6月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jihe.html>

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を

満たしていると認定された。次回は、令和11年度に受審することとしている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）	
a 公表予定の有無	[(有) ・ 無]
≪ aで「有」の場合 ≫	
b 公表（予定）時期	[(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法	[(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]
≪ aで公表「無」の場合 ≫	
d 公表しない理由	[]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月 2日

改正 2021年4月19日

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

イ 各学部設置各学科の教授、准教授、講師および助教の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科1名

ロ 教育・学生支援機構課長

ハ その他必要に応じて教育・学生支援機構長の推薦により学長が任命した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項ロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること

ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行

ハ FDプログラムの開発

ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析

ホ 授業改善のための方策の検討

ヘ その他FDに関する必要なこと

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から教育・学生支援機構長の意見を聴いて、学長が任命する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について速やかに教育・学生支援機構長を経て、学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 議事録の作成および保管を含め、委員会の庶務は、教育・学生支援機構で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2021年4月19日から施行し、2021年4月1日から適用する。